

3 環境整備工事

(1) 仮設工事

整備前、地域住民の生活道である村道阿部山6号線が史跡指定地内を東西に通っており、工事の開始に先立ち、明日香村は村道を廃止した。迂回路となる谷地の南側の村道阿部山23号線では村道平田阿部山線との交差点を横断するのに見通しが悪く危険であるため、史跡西側の旧村道阿部山6号線との交差点を使いたいとの要望が阿部山集落からあった。工事中において実際に使用できる期間と使用人数は限られていたが、地域住人の要望に対処するため、史跡指定地南側の国土交通省が整備する公園用地内に仮設道を設置した。

仮設道路の舗装はアスファルト舗装とし、排水のため樹脂波状管半割を仮設道路の両側に設けると共に工事敷地内を通行するため立ち入り禁止柵として単管手すりを両側に設けた。

また、夜間通行の安全確保のためLEDチューブライトを単管手摺に設置した。

アスファルト舗装	164m ²
単管手すり	214m
半割排水管	212m

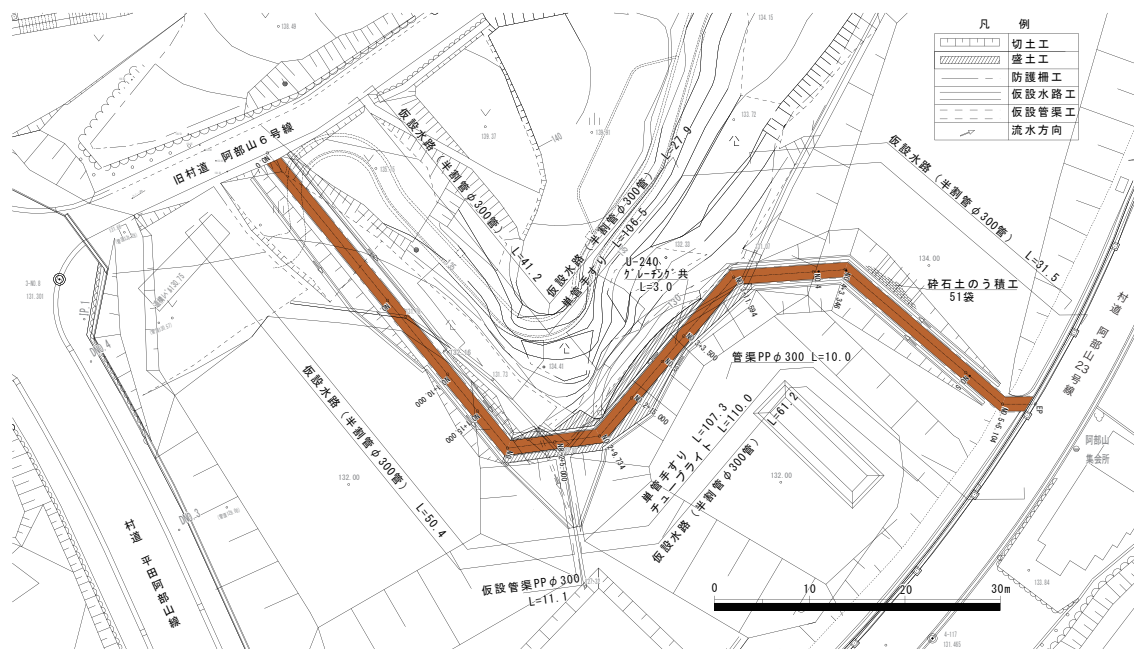


Fig.58 工所用仮設通路計画図

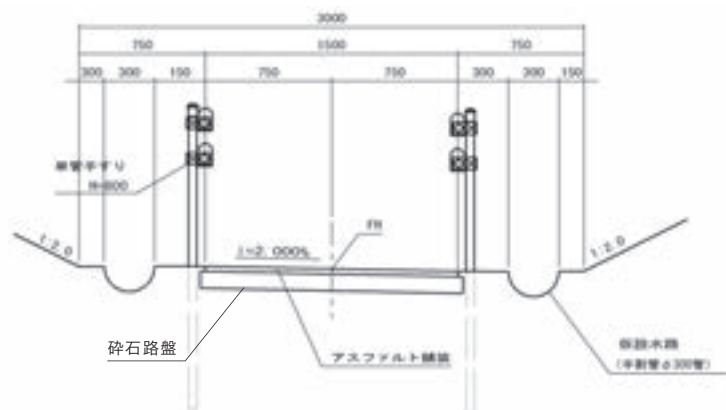


Fig.59 工事用仮設通路横断面図



Fig.60 仮設通路造成中



Fig.61 路盤施工中



Fig.62 出来形検査



Fig.63 仮設通路・遠景



Fig.64 工事完了（北から）



Fig.65 工事完了（南から）

(2) 撤去工事

撤去工事では、既存木伐開工事と旧村道の舗装等の取り壊し工事を実施した。

1) 既存木伐開工事

墳丘周囲及び史跡地東部は昭和40年代にヒノキの植林が施されて密生しており、史跡地南西部では傾斜地に竹林が繁茂していた。国営公園での植栽計画が里山を目指していたため、墳丘周辺の植栽はこれと整合しない既存樹を伐採することとした。

工期が長期にわたる場合は、土砂崩落の防止のために数年に分けて伐木を行うことが望ましいが、今回工事は工期が短期間であり、面積も限られることから一度に伐木を実施した。ただし、伐木は東側隣地境界近くで留めた。

針葉樹林の中に実生で自生していた広葉樹で伐木の支障とならないものは、土砂崩落防止にも役立つため、補植に代わって極力残した。

史跡指定地南西部の竹を主とした木竹については盛土造成を行う上で工事の支障となり、除根しないと整備後に竹林が再生する危険性があったため、全面的に伐開除根を実施した。

既存針葉樹林伐木	2,055 m ²
支障木・竹伐開	999 m ²
除草	1,910 m ²

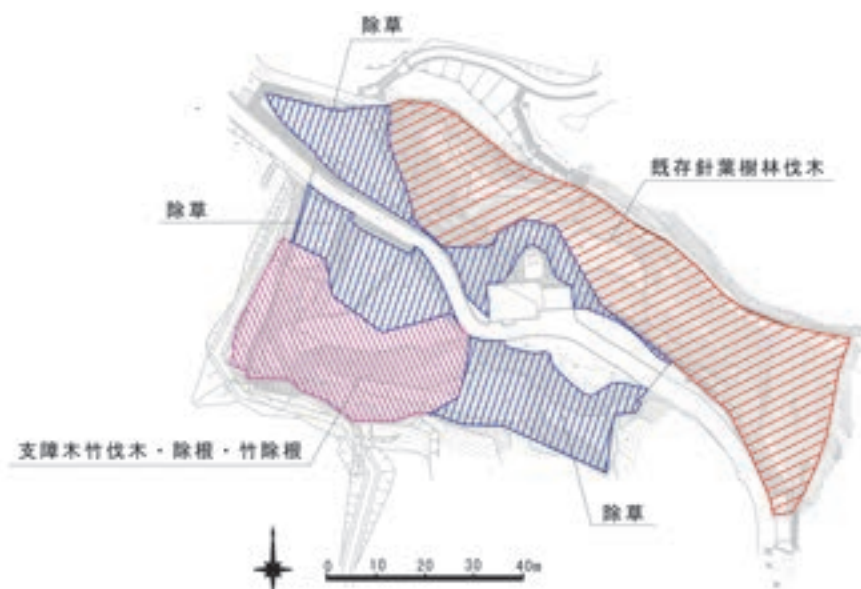


Fig.66 伐開位置図



Fig.67 南西部伐開施工状況



Fig.68 南西部竹伐根施工状況



Fig.69 史跡地東部伐開前



Fig.70 伐開工事中



Fig.71 クレーンを用いた伐開作業



Fig.72 伐開後

2) 舗装等取り壊し工事

取り壊し工は、旧村道のアスファルト舗装及びコンクリート舗装、付属するL形側溝の撤去の他、工事に支障となる構造物及び仮設の仮囲い、発掘発生土のう等の撤去を実施した。

アスファルト舗装撤去	296 m ²
コンクリート舗装撤去	67 m ²
L形側溝撤去	26m

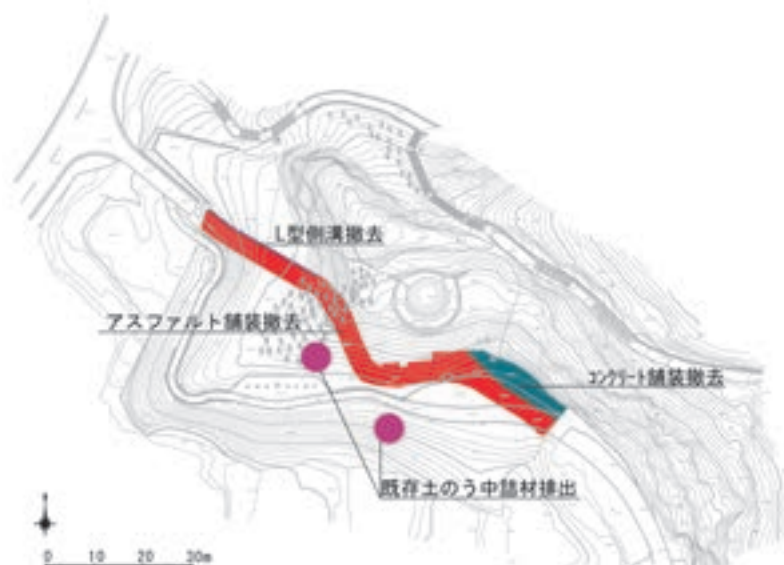


Fig.73 撤去構造物位置図



Fig.74 アスファルト撤去前の状況（墳丘西側）



Fig.75 アスファルト撤去前の状況（墳丘東側）



Fig.76 アスファルト舗装撤去状況



Fig.77 コンクリート舗装撤去状況